

キッチンカー

つげ幻象

フアインダーをこぼれ初冠雪の富士
菊の節句陽射しを分けてもらひけり
先頭に秋の陽だまりキッチンカー
待宵や壺に波打つ酒の音
秋深き午後の生徒は連れ立ちて
にほどりやシーバスの水脈ゆるゆると
初霜やけさの箒目よみがへり
風連れてきりんの歩む小春かな
雪催本の隙間に本戻し
白波も富士のにぎはひ冬ぬくし